

**GLOBAL-DINING** INC.

2020年12月期通期 決算説明資料  
February 18<sup>th</sup>, 2021

## 2020年12月期通期 決算報告

### I. 業績サマリー

- 損益計算書の概要(連結) 4
- 会社別実績概要 5
- 貸借対照表の概要(連結) 6
- キャッシュ・フローの概要(連結) 7
- 過去5年間 売上高等主要数値の推移(連結) 8

### II. 事業計画サマリー

- 2021年12月期 通期計画(連結) 10

### III. 2020年の振り返り

- 国内売上高前年対比率 月次推移 12
- 国内客数と客単価の前年同期比推移 13
- 通期の概況 14
- 国内業態別業績 15
- 海外米国店舗別業績 16
- 取り組み(新店紹介) 17
- (米国子会社:アウトドア ダイニング) 18

### IV. 2021年の取り組み

- 2021年の取り組み 20

### 参考資料

- 展開コンセプト 22
- 国内コンセプト別全店売上高推移 23
- 国内コンセプト別全店営業利益率推移 24
- 損益計算書概要 – 国内 25
- 損益計算書概要 – 連結子会社(米国) 26
- 2020年12月期通期 赤字店10店舗 27
- 注意事項、問合せ先 28

# I. 業績サマリー

# 損益計算書の概要(連結)

	2020年12月期 通期						2019年12月期 通期			
	実績		修正計画値				実績			
		構成比		構成比	差異			構成比	差異	
売上高	5,667		5,855		(188)	-3.2%	9,610		(3,943)	-41.0%
営業利益	(1,175)	-20.7%	(1,195)	-20.4%	20	-	40	0.4%	(1,215)	-
経常利益	(1,102)	-19.5%	(1,125)	-19.2%	23	-	96	1.0%	(1,199)	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	(1,509)	-26.6%	-	-	-	-	(331)	-3.4%	(1,178)	-
1株当たり 当期純利益	△147円56銭		-				△32円40銭			

期中平均株数(単位:千株)

2020/12/31: 10,229

2019/12/31: 10,225

為替レート

USD/JPY 103.50

USD/JPY 109.56

(単位:百万円)

## 【売上高】

国内外ともに新型コロナウイルス感染症の影響や一定期間の休業、営業時間短縮により売上高が大幅に減少。

【国内】前年同期比で全店・既存店ともに大幅に減少。

コンセプト別では、「権八」が訪日客の減少や宴会需要の減少により、前年同期比で60%以上の減少。

前年同期比: 全店△42.5% 既存店△34.8% 修正計画値比: △3.2%

【米国】「ラ・ボエム」単体では、屋外営業(アウトドアダイニング)が功を奏し、前年同期比で60%以上の増加。全店では減少。

前年同期比(USDベース): 全店△8.5% 修正計画値比: △16.4%

## 【コスト】

【国内】売上原価率は、前年同期比で19.7ポイントの悪化。特に労務費率が7.0ポイント、固定経費率が6.5ポイント悪化。

【米国】売上原価率は、前年同期比で2.9ポイントの改善。特に労務費率が4.2ポイントの改善。

## 【その他】

国内店舗物件(港区)の退店要請を受け入れ、「受取立退料(特別利益)」265.2百万円を計上。

閉鎖店舗・国内不採算店舗等の固定資産の減損により、「減損損失(特別損失)」482.6百万円を計上。

閉鎖店舗及び閉鎖が決定した店舗の損失額(見込額含む)として、「店舗閉鎖損失(特別損失)」114.5百万円を計上。

# 会社別実績概要

国内	2020年12月期 通期						2019年12月期 通期			
	実績		修正計画値				実績			
		構成比		構成比	差異			構成比	差異	
売上高	5,240	100.0%	5,337	100.0%	(96)	-1.8%	9,116	100.0%	(3,876)	-42.5%
営業利益	(1,094)	-20.9%	(1,151)	-21.6%	57	-	150	1.7%	(1,245)	-
経常利益	(1,018)	-19.4%	(1,080)	-20.2%	62	-	207	2.3%	(1,225)	-
当期純利益	(2,290)	-43.7%	-	-	-	-	(221)	-2.4%	(2,069)	-

(単位：百万円)

想定為替レート： USD/JPY=105.00

米国	2020年12月期 通期						2019年12月期 通期			
	実績		修正計画値				実績			
		構成比		構成比	差異			構成比	差異	
売上高	426	100.0%	518	100.0%	(91)	-17.6%	493	100.0%	(67)	-13.6%
営業利益	(81)	-19.1%	(44)	-8.5%	(37)	-	(110)	-22.4%	29	-
経常利益	(83)	-19.6%	(45)	-8.7%	(38)	-	(110)	-22.3%	26	-
当期純利益	(83)	-19.6%	-	-	-	-	(110)	-22.3%	26	-

(単位：百万円)

※上記は連結修正前の会社別数値です。

米国の業績悪化に伴い、国内の特別損失として関係会社株式評価損864.9百万円を計上しております。当該関係会社株式評価損は、連結決算上では相殺消去されるため、連結業績への影響はございません。

# 貸借対照表の概要(連結)

	2020年12月期		2019年12月期		増減	
	通期		通期			
<b>流動資産</b>	<b>881</b>	<b>14.9%</b>	<b>1,001</b>	<b>15.0%</b>	<b>(120)</b>	<b>-12.0%</b>
現預金	321		319		2	
売掛金	212		358		(146)	
原材料及び貯蔵品	122		162		(39)	
商品及び製品	8		18		(9)	
前払費用	88		130		(42)	
未収入金	105		11		93	
還付法人税等	22		0		22	
その他	0		0		0	
<b>固定資産</b>	<b>5,053</b>	<b>85.1%</b>	<b>5,677</b>	<b>85.0%</b>	<b>(624)</b>	<b>-11.0%</b>
有形固定資産	3,979	67.1%	4,295	64.3%	(315)	-7.3%
建物・構築物	1,134		1,467		(333)	
工具器具	131		182		(50)	
土地	2,593		2,633		(39)	
リース資産	116		11		104	
その他	4		0		3	
無形固定資産	2	0.0%	1	0.0%	0	12.3%
投資その他の資産	1,071	18.1%	1,380	20.7%	(309)	-22.4%
投資有価証券	13		16		(2)	
長期前払費用	8		8		0	
繰延税金資産	0		53		(53)	
差入保証金	1,049		1,301		(252)	
<b>総資産</b>	<b>5,934</b>	<b>100.0%</b>	<b>6,679</b>	<b>100.0%</b>	<b>(744)</b>	<b>-11.1%</b>

	2020年12月期		2019年12月期		増減	
	通期		通期			
<b>負債合計</b>	<b>3,978</b>	<b>67.0%</b>	<b>3,138</b>	<b>47.0%</b>	<b>840</b>	<b>26.8%</b>
<b>流動負債</b>	<b>2,292</b>	<b>38.6%</b>	<b>1,701</b>	<b>25.5%</b>	<b>591</b>	<b>34.7%</b>
買掛金	228		378		(149)	
短期借入金	730		0		730	
短期リース債務	22		3		18	
1年内返済予定長期借入金	252		377		(125)	
未払金	96		116		(20)	
未払費用	477		361		115	
預り金	214		33		181	
未払法人税等	92		81		11	
未払消費税	104		91		13	
店舗閉鎖損失引当金	10		38		(28)	
資産除去債務	22		167		(145)	
その他	40		50		(9)	
<b>固定負債</b>	<b>1,686</b>	<b>28.4%</b>	<b>1,436</b>	<b>21.5%</b>	<b>249</b>	<b>17.4%</b>
長期借入金	958		742		215	
長期リース債務	105		8		96	
退職給付に係る負債	40		40		0	
繰延税金負債	33		0		33	
資産除去債務	549		644		(95)	
<b>純資産</b>	<b>1,955</b>	<b>33.0%</b>	<b>3,540</b>	<b>53.0%</b>	<b>(1,585)</b>	<b>-44.8%</b>
資本金	30		1,485		(1,455)	
資本剰余金	3,596		2,140		1,456	
利益剰余金	(1,453)		56		(1,509)	
為替換算調整勘定	(231)		(165)		(65)	
その他	13		24		(11)	
<b>負債・純資産合計</b>	<b>5,934</b>	<b>100.0%</b>	<b>6,679</b>	<b>100.0%</b>	<b>(744)</b>	<b>-11.1%</b>

(単位: 百万円)

未収入金は、撤退店舗の敷金返還の期ずれで93百万円の増加。

有形固定資産は、新規出店に伴う増加もあったが、減価償却及び減損損失の影響等で315百万円の減少。

差入保証金は、新規出店の敷金差入による増加の一方、撤退店舗の引き渡し完了による敷金返還(未収入金への振替含む)があった為、252百万円の減少。

短期借入金は、手形貸付等による運転資金の借入により730百万円の増加。今後、長期借入金への契約巻き直しを予定。

1年以内返済予定を含む長期借入金は、返済による減少以外では、銀行借入や社長借入、政府融資(米国子会社)での借入を実行し、90百万円の増加。

未払費用は、業績悪化に伴う人員削減や給与及び報酬の減額等により給与未払金が相対的に減少したが、社会保険料や固定資産税の納付猶予等で増加。

預り金は、社会保険料の納付猶予により増加。

純資産は、当期純損失の影響等により1,585百万円の減少。また、「資本金」を30百万円に減少し、減少額の全額を「資本剰余金(その他資本剰余金)」に振替。

# キャッシュ・フローの概要(連結)

連結	2020年12月期 通期	2019年12月期 通期	増減
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>(305)</b>	<b>212</b>	<b>(517)</b>
税金等調整前四半期純損益	(1,432)	(340)	(1,091)
減価償却費	185	221	(35)
減損損失	482	392	90
店舗閉鎖損失	73	6	66
店舗閉鎖損失引当金増減額	(72)	38	(110)
受取立退料	(265)	0	(265)
売上債権の増減額	146	(27)	174
前払費用増減額	22	(10)	33
たな卸資産の増減額	48	7	40
仕入債務の増減額	(149)	3	(153)
その他未払金増減額	(22)	(38)	15
未払費用増減額	115	3	112
前受収益増減額	(7)	(44)	36
未払消費税増減額	25	25	0
差入保証金の増減額	206	0	206
未収入金の増減額	(93)	(2)	(90)
預り金増減額	181	(1)	182
利息の支払額	(13)	(8)	(5)
立退料の受取額	270	0	270
その他	(5)	(13)	8
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>(509)</b>	<b>(51)</b>	<b>(457)</b>
有形固定資産の取得による支出	(82)	(104)	21
資産除去債務の履行による支出	(464)	0	(464)
保証金の回収による収入	52	70	(17)
保証金の差入による支出	(13)	(16)	2
その他	(2)	(1)	1
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>820</b>	<b>(113)</b>	<b>934</b>
短期借入れによる収入	730	0	730
長期借入れによる収入	390	770	(379)
長期借入金の返済による支出	(289)	(879)	589
その他	(11)	(4)	(6)
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>(4)</b>	<b>(0)</b>	<b>(3)</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>2</b>	<b>46</b>	<b>(44)</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>319</b>	<b>272</b>	<b>46</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>321</b>	<b>319</b>	<b>2</b>

「営業活動によるキャッシュ・フロー」  
前年比△517百万円の305百万円のキャッシュアウト。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」  
撤退店舗の引き渡し完了で保証金の回収による収入もあったが、新規出店や設備投資、撤退工事費用の支出により、前年比△457百万円の509百万円のキャッシュアウト。

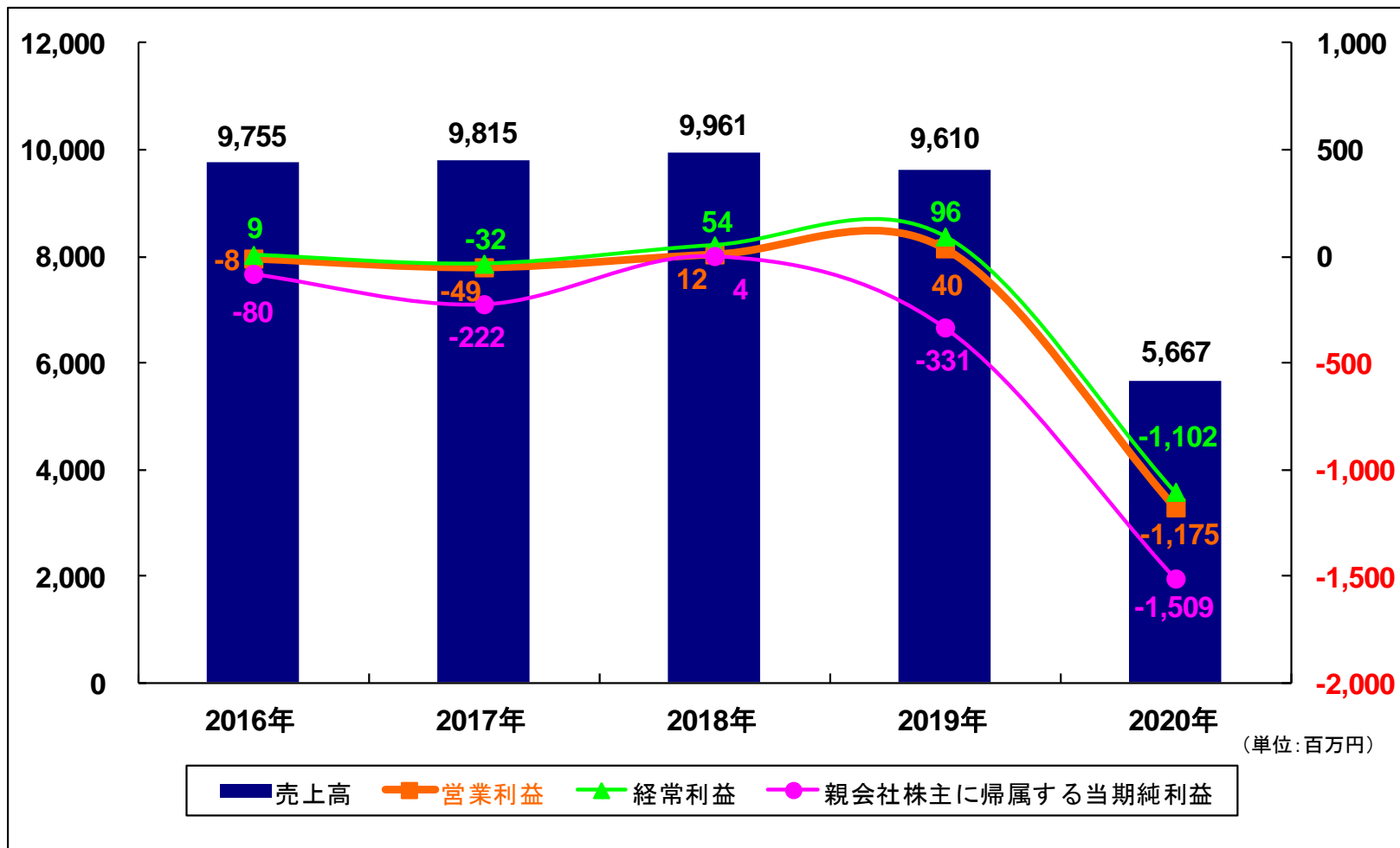
「財務活動によるキャッシュ・フロー」  
総額1,120百万円の借入、289百万円の借入金返済で前年比+934百万円の820百万円のキャッシュイン。

現金及び現金同等物は、2百万円のキャッシュインとなり、期末残高は321百万円。

(単位:百万円)



# 過去5年間 売上高等主要数値の推移(連結)



- ・ 2017年、2018年は2期連続の増収を達成したが、2019年は国内店舗数の減少、米国は著しい天候不良により減収となる。
- ・ 2020年の売上高は、国内外ともに新型コロナウイルスの影響により、大幅に減収(前年比△41%)。
- ・ 2018年、2019年は2期連続の営業黒字を達成したが、2020年は国内において従業員給与及び役員報酬の減額、支払賃料の減額免除等の要請、その他費用削減の施策を行ったものの、売上高減少の影響が大きく、11億円を超える営業赤字。



## Ⅱ. 事業計画サマリー

# 2021年12月期 通期計画(連結)

	2021年12月期 通期計画		2020年12月期 通期実績			
		構成比		構成比	差異	
売上高	6,000 ～ 7,000	100.0%	5,667	100.0%	333 ～ 1,333	5.9% ～ 23.5%
営業利益	(500) ～ 0	-8.3% ～ 0.0%	(1,175)	-20.7%	675 ～ 1,175	-
経常利益	-	-	(1,102)	-19.5%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	-	-	(1,509)	-26.6%	-	-
1株当たり 当期純利益	-	-	△147円56銭		-	

想定為替レート: USD/JPY=105.00

(単位: 百万円)

2021年12月期(2021年1月1日～2021年12月31日)の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明な状況であることから、今後の状況を考慮し、売上高および営業利益をそれぞれレンジ形式による開示としております。

レンジ上限:

国内外ともに新型コロナウイルス感染症が2021年中にかけて緩やかに収束に向かうと仮定し、訪日客及び国内外食需要が緩やかに回復した場合として算出しています。

レンジ下限:

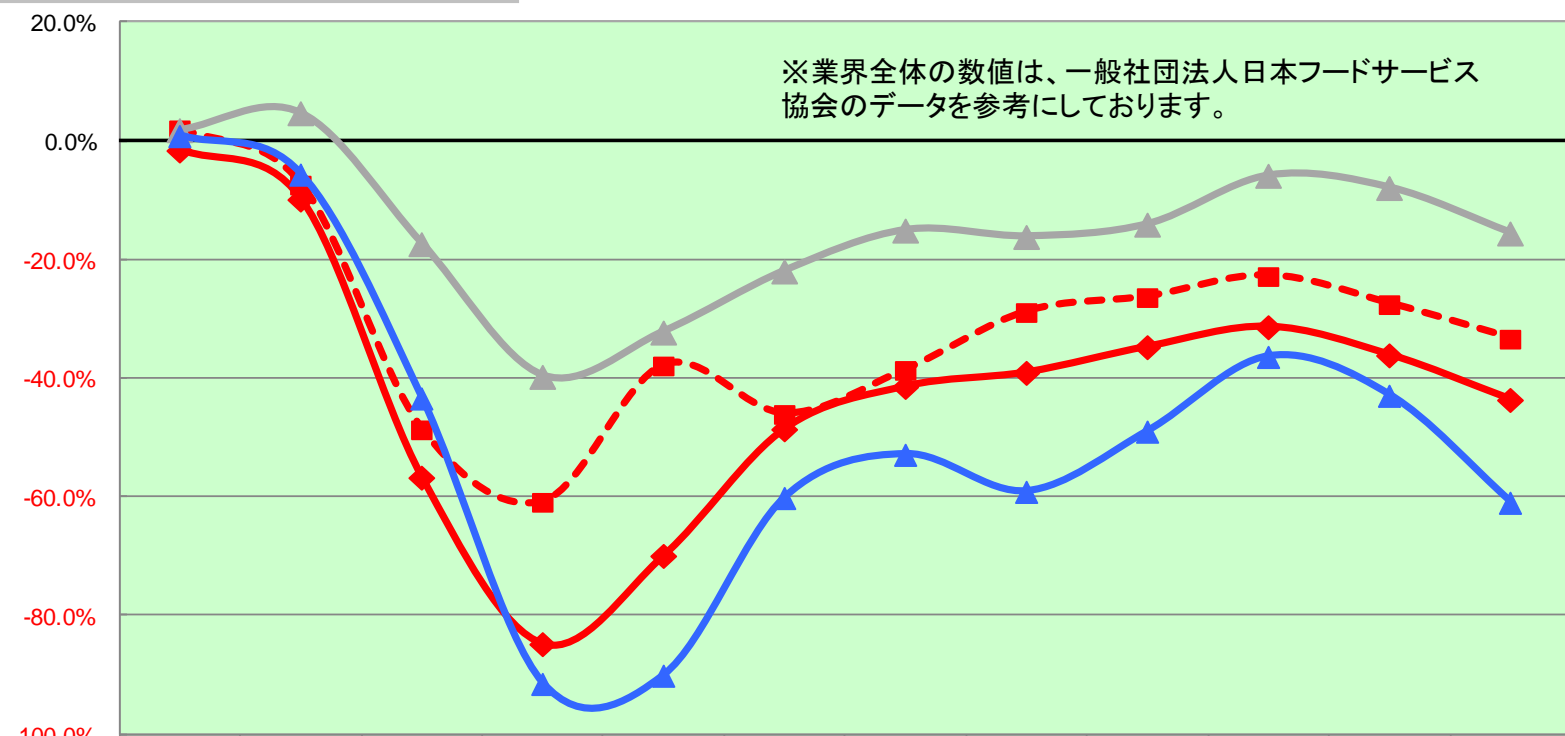
2020年12月期の下半期(2020年7月～2020年12月)と同程度まで経済活動が停滞した場合を想定し算出しています。

なお、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により不確定要素が多いため、未定とさせていただきます。

## Ⅲ. 2020年の振り返り

# 2020年通期 国内売上高前年対比率 月次推移

※業界全体の数値は、一般社団法人日本フードサービス協会のデータを参考にしております。



	'20/1	'20/2	'20/3	'20/4	'20/5	'20/6	'20/7	'20/8	'20/9	'20/10	'20/11	'20/12
国内全店合計	-1.5%	-9.7%	-56.6%	-84.7%	-69.8%	-48.5%	-41.3%	-39.0%	-34.6%	-31.3%	-36.0%	-43.5%
国内既存店合計	2.0%	-7.3%	-48.6%	-60.8%	-37.8%	-46.0%	-38.5%	-28.8%	-26.3%	-22.7%	-27.5%	-33.3%
外食業界全体	1.9%	4.8%	-17.3%	-39.6%	-32.2%	-21.9%	-15.0%	-16.0%	-14.0%	-5.7%	-7.8%	-15.5%
パブレстран	1.0%	-5.5%	-43.3%	-91.4%	-90.0%	-60.1%	-52.8%	-59.0%	-48.9%	-36.3%	-42.8%	-60.9%

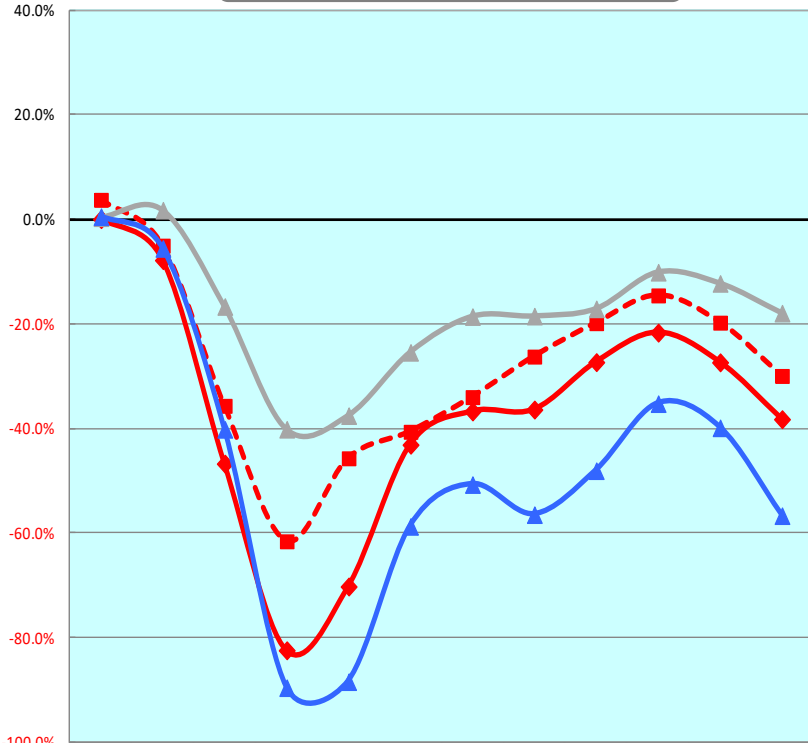
2020年12月期 通期 国内店舗売上高前年比  
 全店店  $\Delta 42.5\%$   
 既存店  $\Delta 34.8\%$

### 2020年 主な出退店

- 1月 「GOOD LIFE FACTORY」閉店
- 3月 「BARTIZAN BREAD FACTORY」オープン
- 5月 「LB6」閉店
- 7月 複合施設「G-Zone銀座(5店舗)」閉店
- 8月 「デカダンスデュ ショコラ 新宿京王」閉店
- 9月 商業施設「ららぽーと愛知東郷(2店舗)」オープン

# 2020年通期 国内客数と客単価の前年同期比推移

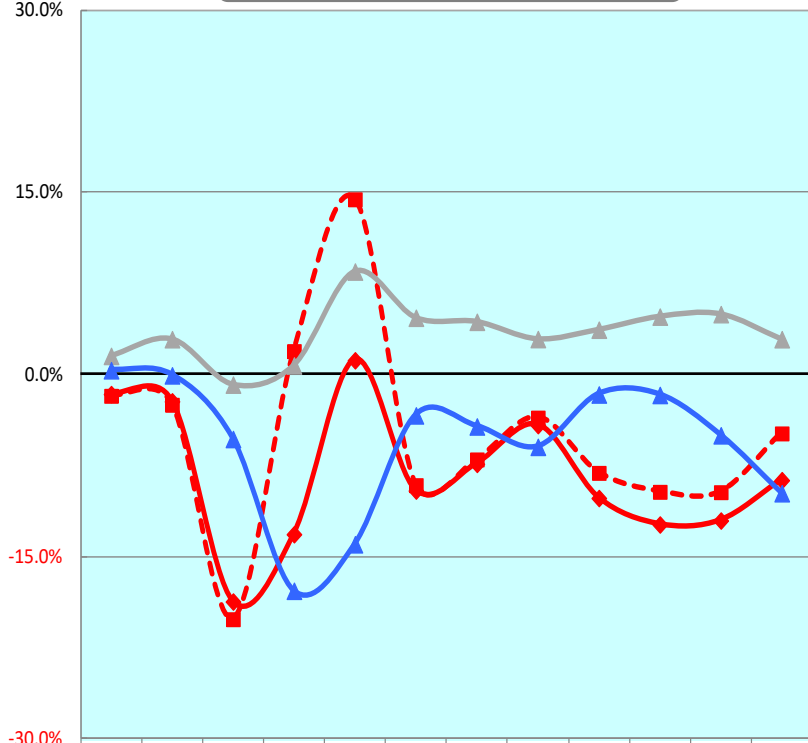
## 客数



	'20/01	'20/02	'20/03	'20/04	'20/05	'20/06	'20/07	'20/08	'20/09	'20/10	'20/11	'20/12
国内全店合計	0.1%	-7.7%	-46.7%	-82.4%	-70.2%	-43.0%	-36.7%	-36.3%	-27.2%	-21.6%	-27.3%	-38.2%
国内既存店合計	3.8%	-5.0%	-35.6%	-61.5%	-45.6%	-40.6%	-33.9%	-26.2%	-19.8%	-14.5%	-19.7%	-29.9%
外食業界全体	0.4%	1.8%	-16.6%	-40.1%	-37.5%	-25.4%	-18.5%	-18.4%	-17.0%	-10.0%	-12.2%	-17.9%
パブレストラ	0.6%	-5.5%	-40.1%	-89.5%	-88.4%	-58.7%	-50.7%	-56.4%	-48.0%	-35.2%	-39.8%	-56.6%

2020年12月期 通期  
全店△37.7% 既存店△30.3%

## 客単価



	'20/01	'20/02	'20/03	'20/04	'20/05	'20/06	'20/07	'20/08	'20/09	'20/10	'20/11	'20/12
国内全店合計	-1.6%	-2.2%	-18.7%	-13.1%	1.2%	-9.5%	-7.3%	-4.2%	-10.2%	-12.3%	-12.0%	-8.7%
国内既存店合計	-1.7%	-2.5%	-20.1%	1.9%	14.4%	-9.1%	-7.0%	-3.5%	-8.1%	-9.6%	-9.7%	-4.8%
外食業界全体	1.5%	2.9%	-0.8%	0.8%	8.5%	4.7%	4.4%	2.9%	3.7%	4.8%	5.0%	2.9%
パブレストラ	0.4%	-0.1%	-5.3%	-17.8%	-14.0%	-3.3%	-4.3%	-5.9%	-1.6%	-1.7%	-5.0%	-9.8%

2020年12月期 通期  
全店△7.9% 既存店△6.5%

## ●新型コロナウイルス感染拡大による業績悪化

- インバウンド層や宴会・接待需要の消滅で大型店を中心に売上高が激減
- 借入と固定費の見直し・削減を実施するも1Q決算発表時にG C注記を付す結果に

## ●経営合理化の推進

- 賃貸契約見直しのお願い、役員報酬・従業員給与の減給に着手し、固定費削減
- 7/31大型複合施設『G-Zone銀座』を閉店（前年度売上高10億29百万円）

## ●新業態の出店継続

- 9/14『ららぽーと愛知東郷』にカジュアル業態2店舗を出店
  - ラ・ボエム パスタフレスカ：生麺を使ったパスタ専門店（新業態）
  - モンスーンカフェ：健康志向に応えるヘルシーエスニック料理

## ●減資の実施

- 11/6開催の臨時株主総会にて減資を決議、資本金3,000万円に
- 当期末時点の欠損てん補、資金調達方法の広がりや税負担の軽減メリットを見込む

## ●海外子会社は「アウトドア ダイニング」に挑戦

- コロナ&デモ等の影響で、累計約4か月間休業状態になり日本以上に厳しい環境
- 店外飲食の営業許可により、駐車場やプロムナード（歩行者通路）をダイニングに変身（改装）
- 8月～10月は単月黒字化、通期業績では売上高は前年に迫る勢いで赤字縮小

# 2020年通期 国内(業態別業績)

## 全店

(単位:百万円)

2020年12月期 通期	合計
売上高	5,240
全店前年比	-42.5%
既存店前年比	-34.8%
営業利益	(1,094)
営業利益率	-20.9%
期末店舗数	41

カフェ ラ・ポエム	ゼスト キャンティーナ	モンスーン カフェ	権八	Dinner&LB	FC	その他	本部 販管費
1,571	148	1,519	1,147	511	124	218	-
-35.2%	-53.5%	-30.7%	-60.0%	-29.0%	-39.8%	-42.7%	-
-19.7%	-0.4%	-19.0%	-56.2%	-18.1%	-39.8%	-46.1%	-
(49)	(49)	(5)	(213)	(132)	9	(80)	(572)
-3.2%	-33.5%	-0.4%	-18.6%	-26.0%	7.9%	-36.9%	0.0%
13	2	10	7	6	1	2	-

2019年12月期 通期	合計
売上高	9,116
営業利益	150
営業利益率	1.7%
期末店舗数	47

カフェ ラ・ポエム	ゼスト キャンティーナ	モンスーン カフェ	権八	Dinner&LB	FC	その他	本部 販管費
2,427	319	2,192	2,870	720	206	380	-
256	(35)	195	475	(49)	38	(51)	(679)
10.6%	-11.2%	8.9%	16.6%	-6.8%	18.8%	-13.5%	0.0%
13	3	10	8	7	1	5	-

- ・インバウンドや宴会・接待需要の消滅、大型店や臨時休業店舗の多かった権八の減収が大きく影響
- ・テラス・折り戸といった開放的な施設や住宅隣接立地が多いラ・ポエムやモンスーンカフェが業績を下支え
- ・ディナー業態では前年よりスタートした「アフタヌーンティー」が好評、ランチ・アイドルタイム需要の掘り起こしに成功
- ・デカダンス ドュ ショコラ のECサイトの売上高が前年対比160%と好調な伸び
- ・那須フードコロシウム (FC) はコストコントロールが奏功し、唯一黒字をキープ

※Dinner&LB: 「ブラスリータブローズ」「タブローズラウンジ」「カフェレガート」「ステラート」「LB8」「リグニス」

※その他: 「パルティザンブレッドファクトリー」「デカダンス ドュ ショコラ」の他、ウエディングサロン売上が含まれます。

※「タコフアナティコ」はゼストに含んでおります。



# 2020年通期 海外(米国 店舗別業績)

## 売上高

4,123千ドル (前年同期比  $\Delta 384$ 千USDドル)

2020年12月期 通期	合計
売上高	4,123
前年比	-8.5%
営業利益	(786)

## 営業損失

$\Delta 786$ 千ドル (前年同期比  $+225$ 千USDドル)

La Boheme	1212 (twelve twelve)	本部 販管費
1,577	2,546	0
60.2%	-27.7%	-
130	(400)	(517)

2019年12月期 通期	合計
売上高	4,507
営業利益	(1,011)

La Boheme	1212 (twelve twelve)	本部 販管費
984	3,523	0
(327)	(96)	(588)

(単位: 千USDドル)

- ・ コロナ&デモの影響で、3/16-6/8と11/26 -12/31の期間の累計約4か月間の休業を余儀なくされる (2021年度に入り1/28まで休業は続いた)
- ・ 政府による手厚い失業手当があり、休業中はレイオフ (一時解雇) を実施
- ・ 財政面では政府融資(Paycheck Protection Program)による借入を実行し、資金繰りは安定
- ・ コロナ禍の特例で店外飲食営業が許可され、「アウトドア ダイニング」に果敢にチャレンジ  
『1212』: 店前プロムナード (歩行者通路) にダイニングスペースを広く確保  
『ラ・ボエム』: 無機質な駐車場をガーデンダイニングへと改装し、新しい店舗へ生まれ変わったような雰囲気
- ・ 誰もが気軽に楽しめるメニュー構成への変更、オールナイトハッピーアワー、DJ・ライブミュージックによるエンターテインメント、徹底した衛生管理でストレスを抱えたお客様を魅了。8-10月は単月黒字化、前年より業績は改善。

# 2020年通期（新店紹介）ラ・ボエム&モンスーンの2業態オープン

9月14日（月）グランドオープン

「三井ショッピングパーク ららぽーと愛知東郷」の1Fに出店

【所在地】 愛知県愛知郡東郷町（愛知県の中央部、名古屋市と豊田市の間に位置するベッドタウン）

愛知県  
初上陸



【店舗名】 **ラ・ボエムパスタフレスカ ららぽーと愛知東郷**  
【面積】 47.28坪（62席）  
【業態】 パスタ専門店  
【特徴】 愛知東郷の出店に合わせて新業態をオープン。浅草開花楼が開発した生麺「低加水パスタフレスカ」を使用し、スピーディーな提供、独特な歯ごたえともっちり感をお楽しみ頂けます。

【店舗名】 『**モンスーンカフェ ららぽーと愛知東郷**』  
【面積】 48.38坪（60席）  
【業態】 カジュアルエスニック  
【特徴】 “ヘルシーエスニック”をテーマに、酵素玄米やカリフラワーライス等の健康食材を取り入れたアジア各国料理を提供。肩肘張らず気軽に利用頂けるカジュアル業態として展開。

**カジュアル業態×商業施設×地方都市出店**

## 2020年通期 米国子会社:「アウトドア ダイニング」の様子



『ラ・ボエム』の無機質な駐車場をガーデンダイニングに改装 (Los Angeles West Hollywood)

- ・屋外の広いスペースが確保できる立地・施設
- ・衛生管理の徹底
- ・お客様に楽しんでいただける様々な工夫 (空間、エンターテインメント、リーズナブルな価格帯の料理構成)
- ・イメージビデオを制作し、SNSで販促活動
- ・スタッフのホスピタリティが高く維持され、ロイヤルカスタマーが著しく増加



『1212 (twelve twelve)』店前のプロムナード (歩行者通路) をダイニングスペースに (Santa Monica)



## **IV. 2021年の取り組み**



## ●財務健全化への道筋

- 取引金融機関からの借入・借り換え、中小企業向け融資・助成金等の活用
- 2020年12月末時点の欠損てん補（その他資本剰余金からの振替）
- 収益性の改善（人材の能力向上に手応え）

## ●出退店

- 5月中旬「モンスーンカフェたまプラーザ」を借地契約満了により閉店
- 6月末『RAYARD Hisaya-odori Park』（愛知県名古屋市中区）に2店舗を出店予定
  - **ラ・ボエム パスタフレスカ**：生麺を使ったパスタ専門店
  - **タコファナティコ**：手作り生地（グルテンフリー）の本格タコス専門店

## ●海外展開

- 1月に海外F C店（権八ドバイ）がソフトオープン
- 子会社「アウトドア」&「エンターテインメント」ダイニングの継続  
（1/29から営業再開。『1212』は開業以来、日次の一般営業で過去最高売上を記録）
- 業績改善に導いた子会社COOを当社取締役任に（3/27付予定）

## 參考資料

# 展開コンセプト(連結)

計43店舗 (2020.12月末)

カフェ ラ・ボエム	モンスーン カフェ	権 八	ゼスト キャンティーナ	ディナー店	※ F C ・ その他 業 態
   <p>イタリアン</p> <p>13店舗</p>	   <p>エスニック</p> <p>10店舗</p>	   <p>創作和食&amp;寿司</p> <p>7店舗</p>	   <p>テックスメックス</p> <p>2店舗</p>	      <p>海外 (米国)</p>    <p>7店舗</p>	    <p>海外 (米国)</p> <p>1212</p>   <p>4店舗</p>
<p>1,571万円</p>	<p>1,519百万円</p>	<p>1,147百万円</p>	<p>148百万円</p>	<p>674百万円</p>	<p>605百万円</p>
<p>27.7%</p>	<p>26.8%</p>	<p>20.2%</p>	<p>2.6%</p>	<p>11.9%</p>	<p>10.8%</p>

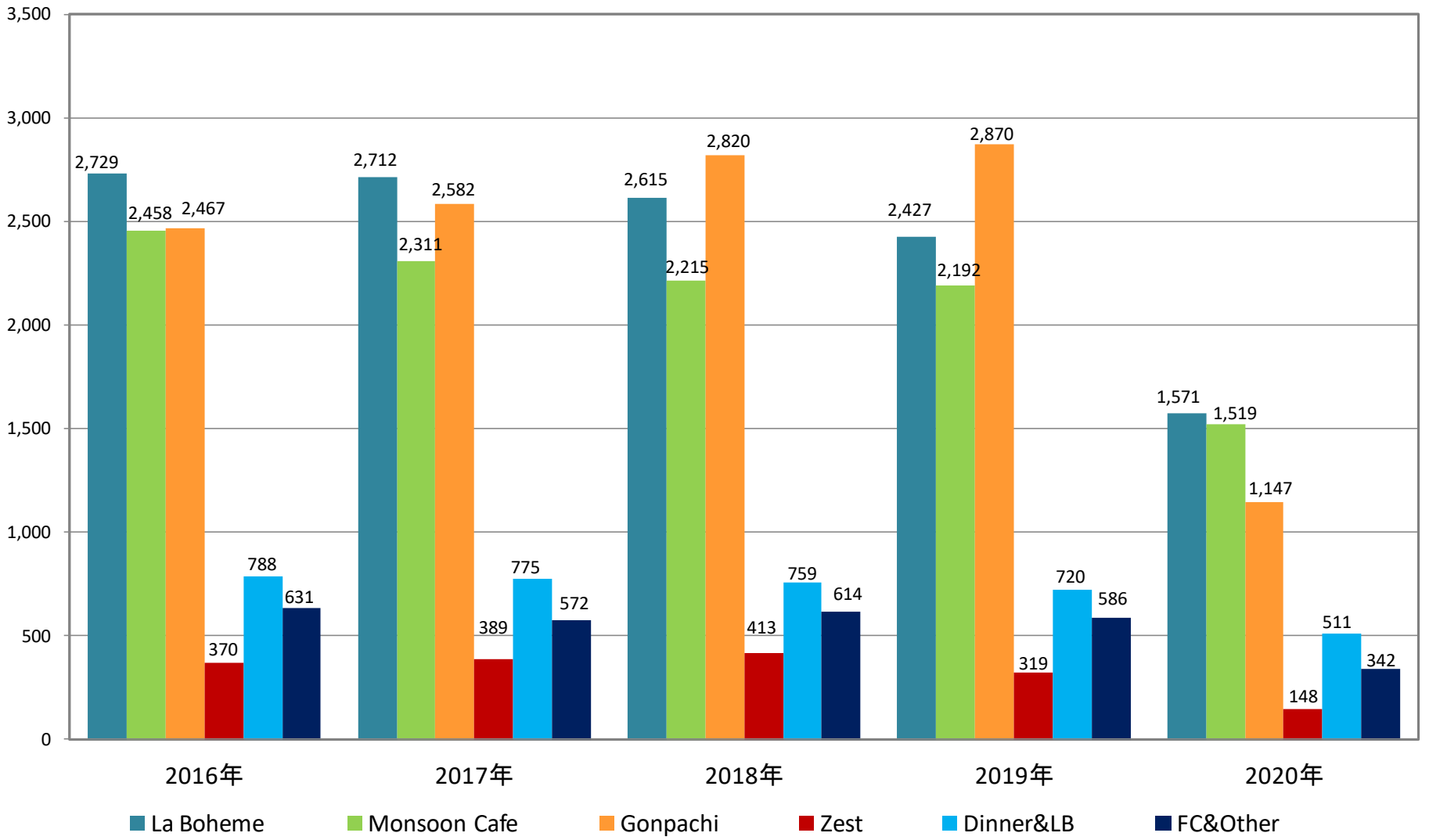
※  
※  
※

※コンセプトの「FC」とは、「FOOD COLOSSEUM (フードコート業態)」の略です。  
 ※上記金額は2020年12月期の連結売上高とそのシェア (%) を記載しております。

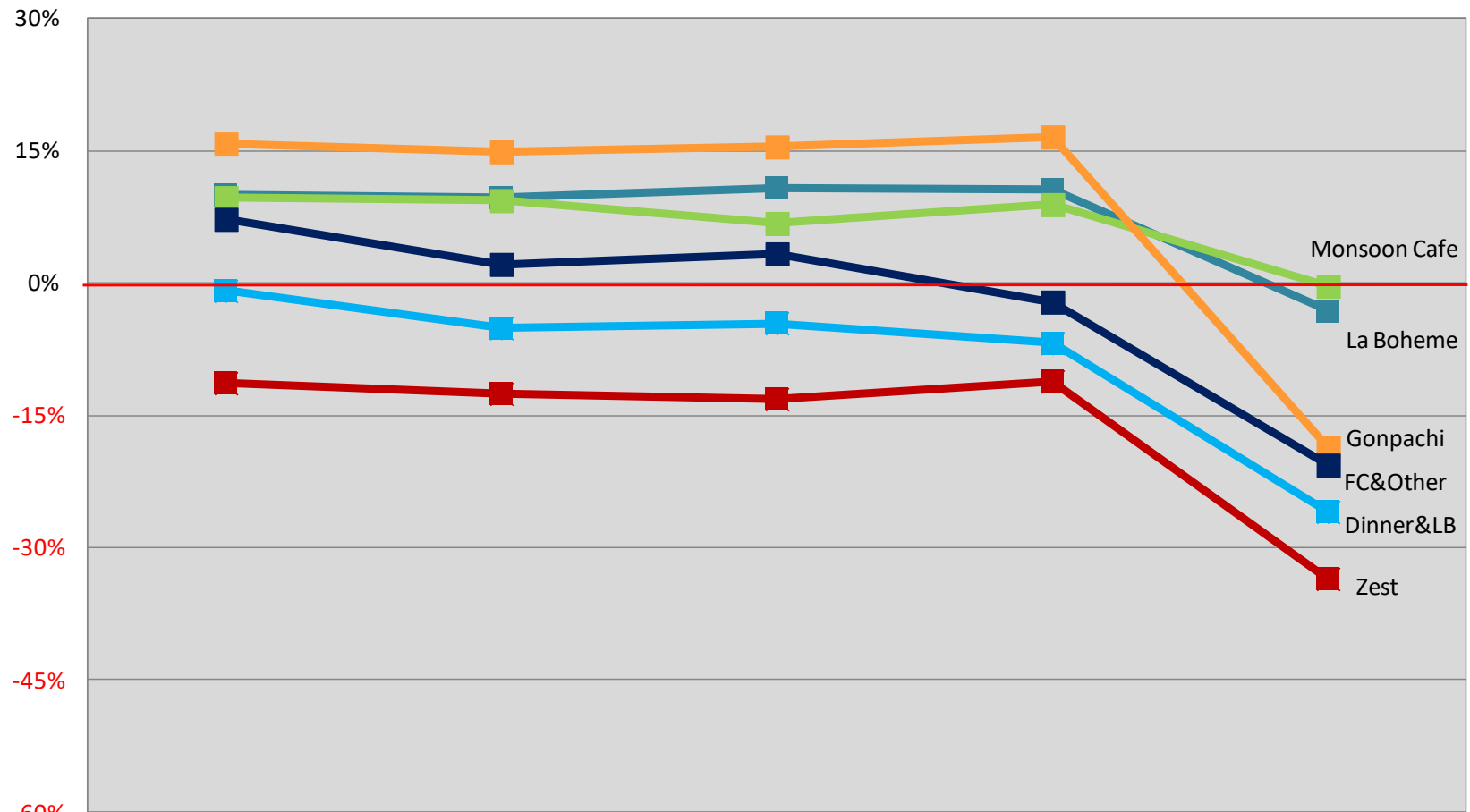


# 国内コンセプト別 全店売上高の推移

(単位: 百万円)



# 国内コンセプト別 全店営業利益率の推移



	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
La Boheme	10.0%	9.7%	10.8%	10.6%	-3.2%
Monsoon Cafe	9.7%	9.4%	6.8%	8.9%	-0.4%
Gonpachi	15.8%	14.9%	15.4%	16.6%	-18.6%
Zest	-11.4%	-12.6%	-13.2%	-11.2%	-33.5%
Dinner&LB	-0.9%	-5.1%	-4.6%	-6.8%	-26.0%
FC&Other	7.2%	2.1%	3.3%	-2.1%	-20.6%

# 損益計算書概要 - 国内

## 全店

2020年12月期 通期	合計
売上高	5,240
全店前年比	-42.5%
既存店前年比	-34.8%
売上原価	5,679
売上総利益	(438)
販管費	655
営業利益	(1,094)
営業利益率	-20.9%
期末店舗数	41

カフェ ラ・ポエム	ゼスト キャンティーナ	モンスーン カフェ	権八	Dinner&LB	FC	その他	本部 販管費
1,571	148	1,519	1,147	511	124	218	-
-35.2%	-53.5%	-30.7%	-60.0%	-29.0%	-39.8%	-42.7%	-
-19.7%	-0.4%	-19.0%	-56.2%	-18.1%	-39.8%	-46.1%	-
1,591	190	1,486	1,315	621	112	293	67
(19)	(42)	32	(168)	(109)	11	(75)	(67)
30	7	38	45	23	1	4	504
(49)	(49)	(5)	(213)	(132)	9	(80)	(572)
-3.2%	-33.5%	-0.4%	-18.6%	-26.0%	7.9%	-36.9%	0.0%
13	2	10	7	6	1	2	-

2019年12月期 通期	合計
売上高	9,116
売上原価	8,087
売上総利益	1,028
販管費	878
営業利益	150
営業利益率	1.7%
期末店舗数	47

カフェ ラ・ポエム	ゼスト キャンティーナ	モンスーン カフェ	権八	Dinner&LB	FC	その他	本部 販管費
2,427	319	2,192	2,870	720	206	380	-
2,132	347	1,955	2,354	747	164	426	(38)
295	(27)	237	515	(26)	42	(46)	38
38	8	41	39	22	3	5	718
256	(35)	195	475	(49)	38	(51)	(679)
10.6%	-11.2%	8.9%	16.6%	-6.8%	18.8%	-13.5%	0.0%
13	3	10	8	7	1	5	-

(単位:百万円)

※Dinner&LB: 「ブラスリータブローズ」「タブローズラウンジ」「カフェレガート」「ステラート」「LB」「リグニス」

※その他: 「バルティザンブレッドアンドパスタ」「バルティザンブレッドファクトリー」「デカダンスデュショコラ」「グッドライフファクトリー」の他、  
ウエディングサロンの売り上げが含まれます。

※「タコファナティコ」はゼストに含んでおります。

# 損益計算書概要 – 連結子会社(米国)

2020年12月期 通期	合計
売上高	4,123
前年比	-8.5%
売上原価	4,392
売上総利益	(269)
販管費	517
営業利益	(786)

2019年12月期 通期	合計
売上高	4,507
売上原価	4,931
売上総利益	(423)
販管費	588
営業利益	(1,011)

La Boheme	1212 (twelve twelve)	本部 販管費
1,577	2,546	0
60.2%	-27.7%	-
1,446	2,946	0
130	(400)	0
0	0	517
130	(400)	(517)

La Boheme	1212 (twelve twelve)	本部 販管費
984	3,523	0
1,311	3,619	0
(327)	(96)	0
0	0	588
(327)	(96)	(588)

(単位:千USドル)

※上記は業績管理用の決算整理前数値です。

## 2020年12月期通期 赤字店10店舗

	店舗名	2020年 通期		(単位:千円)
		売上	営業利益	
1	権八&SUSHI権八 G-Zone銀座	78,333,151	-61,210,349	2020年7月 閉店
2	タブローズ	34,926,434	-55,393,446	
3	権八&SUSHI権八 西麻布	330,935,374	-51,025,058	
4	ウェディングサロン	48,478,439	-36,731,557	
5	カフェ ラ・ボエムG-Zone銀座	48,428,862	-32,596,472	2020年7月 閉店
6	ゼスト キャンティーナG-Zone銀座	35,862,435	-30,758,998	2020年7月 閉店
7	BARTIZAN Bread & Pasta	25,323,810	-25,462,090	※
8	レガート	215,103,374	-24,455,919	
9	カフェ ラ・ボエムお台場	122,497,071	-22,482,793	
10	ステラート	51,626,093	-22,433,582	

赤字額の大きい10店舗のみ記載させていただいております。

※「BARTIZAN Bread & Pasta(浜松町)」は2020年10月に「カフェ ラ・ボエム浜松町」へ業態変更しております。



決算説明動画配信URL  
<https://www.global-dining.com/ir/>

### 注意事項

本資料における将来に関する事項は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。

This document contains forward-looking statements which represent the Company's expectations or beliefs concerning future events. The Company's actual results could differ materially from those stated or implied in the forward-looking statements herein.



<資料に関するお問い合わせ>  
総務管理グループ 03-5469-3223 [stock@global-dining.com](mailto:stock@global-dining.com)